

月報 2026年9月31日 NO427

9月号



石城山岳会事務局編集

2026年 登山教室 一切経山（シモフリ新道）周回

遠いやケノママ(1日目)と祝瓶山(2日目)

2026 年 登山教室 一切経山（シモフリ新道）周回

期日 2026 年 8 月 23 日（日）

参加者：A 班 谷口 鶴沼 山田 三角孝（L）佐藤（SL）

B 班 菅野 先崎 高木 大和田（L）吉田（SL）

C 班 関根 小室 根本 鈴木（L）二瓶（SL）三角智子 矢内
待機 蛭田

<コースタイム> 距離 11.5km 山行 7 時間 25 分（休憩 1 時間）登り 950m（A 班）
不動沢登山口（6：20）→賽の河原（6：50）→中天狗（8：25）→白とんがり（8：40）
→ラクダ山（9：15）→一切経山（10：35）（30分昼休憩）風あり汗が冷え始め後続グループを待てず山行再開 →家形分岐（五色沼分岐）（11：50）→賽の河原（13：10）→登山口（13：45到着）

<山行コメント>

今回登山教室で登るのは一切経山。通常は浄土平登山口からお気軽に入山でき、火山を感じさせる山肌や硫黄の香りがする噴気孔の煙を眺めたり、木道を歩く湿原 通称魔女の瞳と言われる青い湖（五色沼）や澄んだ湖の鎌沼で有名ですが、登山教室で登るのは不動沢登山口から入山する初心者お断りのシモフリ新道で山頂を目指す高低差900mの周回コースです。

3グループに分かれて登山開始。前半は登ったり下ったり沢を渡ったり粘土質で滑る登山道は所どころ雨水で削られており歩きにくい倒木やぬかるみ笹藪あり樹林帯とガレ場が交互に出てくるダイナミックで多彩な山を登り教室生はクタクタで足をつる人が何人かみられました。一切経山頂上では雲が多い割にしっかり魔女の瞳がみられて感激。魔女の瞳を眼下に眺めながら昼休憩をしていると大量の汗が風で冷え始め、後続グループは頂上前に休憩をとったりペースを落して各グループでペースに差が出ていることもあり、（A）班は先に出発。（C）班からは慣れない山行にて疲労しエスケープルートで浄土平登山口へ下山する者1名ありとなりました。

下山では見た目以上に急な下りが続き玉砂利・浮石・岩場は特に滑るので注意しながら歩き続け後ろを振り返るとかなり下ったことに驚き魔女の瞳も別角度から見ると印象が変わってみえて興味深かったです。またシャクナゲの木が多数見られたので個人的には初夏の花の開花する頃にまた登ったりしたいと思いました。人によっては楽しかったり、修行だったりと今後の山行に向けて各々の課題も見えてきた山行でした

（文責:谷口）



遠いやケノママ(1日目)と祝瓶山(2日目)

期日：2026年9月22日(火)～23日(水)

参加者：秋葉、安部、須藤、三角智子、三角孝

1日目は天元台ロープウェイリフト優待券を使って吾妻山のヤケノママ辺りを歩き、その後針生平登山口まで移動・テント泊し、2日目に祝瓶山に登る計画です。ヤケノママ(焼野間々?)は河原の噴気地帯、天然のオンドル…地面が暖かいらしい。祝瓶山はピラミダルな美しい山で山頂からの眺望を楽しもう。

【1日目】「山と高原」地図の古い版には藤十郎のヤケノママ分岐から1時間20分のコースタイムが記されていましたが、更新版の破線ルートは“ヤブ通行不可”表示。秋葉さんの記憶で踏み跡があった分岐に入ると道らしき跡はあるものの灌木の密敷に足を掬われ断念。残念。中大巔南の大凹沢を下り中津川…別ルートのお話を聞きつつ初秋を満喫。遠いやケノママを後に、らくらくリフトで下山しました。

〈コースタイム〉9:50 リフト終点 → 11:45～13:00 ヤケノママ分岐 → 14:20 リフト終点(乗場)

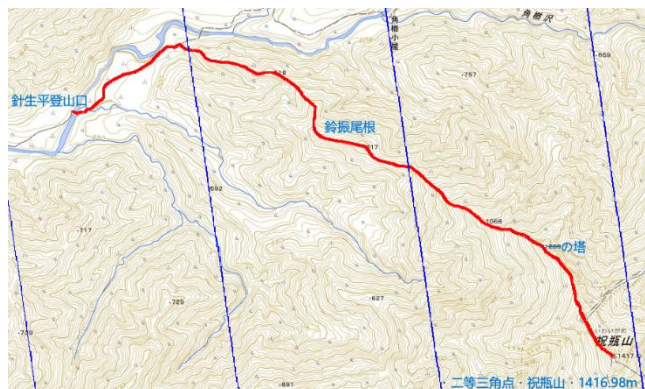
【2日目】初っ端の吊橋では皆さん体幹良く渡っていて感心しました(自分はダメ)。穏やかな日和の下、樹林の中は涼しく、林を抜けると展望が開け、とても気持ち良く歩くことができました。青空を背景に大朝日岳が見え始め、祝瓶山の山頂まで抜群の展望が続きました。少し急な斜面の足元を見るとザレていたり、崖際の所もあり緊張忘れず。山頂からは、遠く双耳峰に見える磐梯山や飯豊山など知っている山々の山座同定も楽しむことができました。

〈コースタイム〉5:40 駐車場 → 8:20 一の塔 → 9:00～9:30 祝瓶山 → 12:25 駐車場

(文責:三角孝)



・天元台⇄ヤケノママ分岐 6km 322↑



・祝瓶山 鈴振尾根ルート 9.0km 1,091m↑



中津川沿いにある
ヤケノママは遠い



祝瓶山山頂(大朝日岳をバックに)

